

パートナーシップで



2025年
7月31日(木) 13時—17時
8月1日(金) 10時—15時

自治体職員向け 2日間連続講座

TARLウェブサイトより申し込み
<https://arl.jp/opencall/newroute-lecture2025/>

「申込締切」2025年7月14日(月) 17時
※定員に達した際は締切日より前に募集を終了する場合があります

参加者募集!

定員
30名

受講料
無料



秋田・東京・沖縄の事例をもとに、
新たな視点で地域課題にアプローチする手法を知る

【対象】地域課題への新しいアプローチを検討している自治体職員、
自治体文化団体職員など

【会場】アーツカウンシル東京 大会議室

東京都千代田区九段北4丁目1-28 九段ファーストプレイス5階

【主催】東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

【運営】P3 art and environment

公共を立ち上げる

近年、各地でさまざまなアートプロジェクトが実施されるようになり、まちなかでの芸術文化活動がさらに広がっています。多様な分野を横断し、地域の暮らしに変化を生み出すこのような取り組みは、地域を支える行政と、民間の主体が協働することによって、さらに発展し広がっていくのではないのでしょうか。

本講座では、行政と民間の多様な主体がパートナーシップを組み、文化事業に取り組むことの可能性とその方法を学びます。文化を通じた領域横断的な取り組みを行うことで、地域の課題に対してさまざまなアプローチを仕掛けている秋田と沖縄、東京の事例を通して、どのように行政と民間とのよりよいパートナーシップを実現するのか、自治体の政策と現場をどう紐づけていくのか、それらの方法が、これからの「公共」を立ち上げるために果たす意義について、参加者のみなさんと考えます。

- ・職位や担当部署を問わず、どなたでもご参加いただけます。文化事業を担当する部署以外の方のご参加も歓迎します。
- ・自治体の抱える政策的な課題に芸術文化の視点でアプローチしたい方、新規事業を検討中の方にもおすすめです。
- ・他地域の取り組みを知り、講師や参加者間のネットワークづくり、ご自身の業務の問題意識を明確にする場としてご活用いただけます。

プログラム

1日目	7月31日(木)	13:00 - 17:00
13:00	趣旨説明・参加者自己紹介 オープニング 「地域の多様な連携から、活動を育む」 話し手…佐藤李青（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	
14:00	セッション1 「アートプロジェクトの広がりパートナーシップの課題」 話し手：芹沢高志（P3 art and environment 統括ディレクター）	
15:00	休憩	
15:15	セッション2 「市民の創造的な場を、二人三脚でつくる」 話し手…齋藤一洋（秋田市企画財政部 部長） 三富章恵（NPO法人アーツセンターあきた 事務局長）	
16:45	クロージング	
17:00	終了	
2日目	8月1日(金)	10:00 - 15:00
10:00	オープニング	
10:15	セッション3 「ジェネラリストと専門性:補完しあう関係性をつくる」 話し手…上地里佳（沖縄アーツカウンシル チーフプログラムオフィサー） 林立騎（那覇市市民文化局文化振興課主幹、那覇文化芸術劇場なはーと 企画制作グループ統括）	
11:45	休憩	
13:00	振り返り・ディスカッション 「パートナーシップで公共を立ち上げるには」	
14:30	クロージング	
15:00	終了	
受講後	レポート提出 講座終了後2週間を目安に、講座のテーマについての課題レポート（1600字程度）を提出していただきます。	

表面使用写真
上…「GERT ROBINS: RESET MOBILE -Crash Landing on AKITA-」(秋田市文化創造館)
中…「HAPPY TURN / 神津島「くると冬まつり2022」(東京アートポイント計画)
下…「バイビシアタープロジェクト/ みんなのかたちモイモイあしびー」(那覇文化芸術劇場なはーと)

ゲスト

秋田



齋藤一洋

秋田市企画財政部 部長

1988年秋田市役所入所。2005年から市民協働・都市内地域分権推進室にて住民自治と市民協働を経験。2009年市民サービスセンター、2010年企画財政部企画調整課配属、2013年から県市連携文化施設整備と芸術文化ゾーンを担当。2016年企画調整課長、市民力による文化創造プロジェクトを進める。2021年デジタル化推進本部長、2022年より現職。



三富章恵

NPO法人アーツセンターあきた 事務局長

1981年静岡県生まれ。名古屋大学大学院国際開発研究科修了。2006年より、独立行政法人国際交流基金に勤務し、東京およびマニラ(フィリピン)において青少年交流や芸術文化交流、海外における日本語教育の普及事業等に従事。東日本大震災で被災経験をもつ高校生・大学生や児童養護施設に暮らす高校生のリーダーシップ研修や奨学事業を行う一般財団法人教育支援グローバル基金での勤務を経て、2018年より現職。

沖縄



上地里佳

沖縄アーツカウンシル チーフプログラムオフィサー

1988年沖縄県宮古島市生まれ。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了後、2013年東京アートポイント計画「三宅島大学」のアートマネージャーとして携わる。2014年より富山県水見市を拠点とするアートNPOヒミングのアートマネージャーとして、市民とアーティスト、行政との協働のかたちを模索しながら、アートプロジェクトの現場運営を担う。2016年からはアーツカウンシル東京にて、東京アートポイント計画、Tokyo Art Research Labを担当。2021年より現職。



林立騎

那覇市市民文化局文化振興課主幹
那覇文化芸術劇場なはーと 企画制作グループ統括

1982年新潟県生まれ。翻訳者、演劇研究者。現在、那覇文化芸術劇場なはーと企画制作グループ統括、沖縄アーツカウンシルアドバイザーボード。演劇ユニットPort Bで国内外のアートプロジェクトに参加し、東京藝術大学大学院特任講師(2014-17年)、沖縄アーツカウンシルプログラムオフィサー(2017-19年)、ドイツの公立劇場ドラマトゥルク(2019-21年)を経て、22年より現職。

ナビゲーター

東京



芹沢高志

P3 art and environment 統括ディレクター

1951年東京生まれ。神戸大学理学部数学科、横浜国立大学工学部建築学科を卒業後、(株)リジナル・プランニング・チームで生態学的土地利用計画の研究に従事。1989年にP3 art and environmentを開発。帯広競馬場で開かれたとかち国際現代アート展「デメーテル」の総合ディレクター(2002年)、横浜トリエンナーレ2005キュレーター、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合ディレクター(2009年、2012年、2015年)、さいたまトリエンナーレ2016ディレクター、さいたま国際芸術祭2020参与、さいたま国際芸術祭2023プロデューサー。

進行

佐藤李青 アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー

※本事業は「東京アートポイント計画」として実施しています。東京アートポイント計画は、社会に対して新たな価値観や創造的な活動を生み出すためのさまざまな「アートポイント」をつくるために、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が、地域社会を担うNPOとともに展開している事業です。実験的なアートプロジェクトをととして、個人が豊かに生きていくための関係づくりや創造的な活動が生まれる仕組みづくりに取り組んでいます。また、自治体と文化事業を共催する「東京都・区市町村連携事業」を実施しています。

●注意事項 ※プログラムは変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。 ※お預かりした個人情報は、本事業の運営及びお知らせのみに使用します。 ※実施中の写真や映像、レポート等の記録は、本事業の運営・広報等に使用します。 ●お問い合わせ 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京事業部事業調整課事業調整係 TARL事務局 TEL: 03-6256-8435(平日10:00-18:00) / E-mail: tarl@artscouncil-tokyo.jp